

ひび割れ、亀裂に強く防水性抜群

1回塗り 水性 外かべ凹凸塗料

ツヤあり 水性アクリル弾性塗料

塗り方

①下地調整

●はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキワイパー・ブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取除きます。

●ひび割れやさびなどは、あらかじめコーキング材やシーリング材などで補修しておきます。

●塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビとり剤で、油分・ワックスはペイントうすめ液で拭いてよく落とします。

②養生

●塗料がついては固まる場所は、あらかじめマスキングテープなどでおおっておきます。

③よくかき混ぜる-1

●塗料は、樽などで容器の底までよくかき混ぜて均一にします。(キャップをあげる前に、缶を逆さにして充分振り混ぜれば、よく混ぜられます)

③よくかき混ぜる-2

●塗料を使い切る場合は、缶の天面を缶切りなどで切り開き、樽などで缶の底までよくかき混ぜて均一にします。

④塗装

くばり塗り

模様づけ

⑤あとしまつ

●コーナーや端にくいところは、先にすじかきV字やニコニコバケで塗っておきます。

●広い面積の部分は、凹凸用塗料専用ローラー(マスタックローラー)に、塗料を均一にたがりと塗布します。平滑な面は塗膜が不均一にならずに、ローラーの動きを十分に調整しながら塗ります。

●次に、塗料を少し少なめに、上から「ヘー」の方向にローラーを転がして模様をつけます。

●よくよく仕上げたい場合は、1回目が終わってからローラー(中毛)で2回塗りします。(このときは水で10～15%うすめ、よくかき混ぜて均一にしてから塗ります)

●マスキングテープは、塗料が乾かないうちに外します。乾いてしまったときは、道具でカッターナイフで切ってはがします。

●塗料後一日以上、充分に乾燥させます。不十分な場合、水ががっかり、雨や結露によって塗膜が流れたり、ハガレやシミの原因になることがあります。

※表記の乾燥時間は、半硬化(手で軽くこすって跡が残らない状態)の時間です。

⑥仕上げ

●ハケや用具は、乾かないうちに水で洗って下さい。

●残った塗料は、固くキャップをしめて保管します。

危険

●器の障害

●水生生物に毒性

救急処置

●目に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

●誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

●誤食、ガスなどを強い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

●皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い落とす。痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

防カビ剤 防藻剤配合

ASAHI PEN

ひび割れ、亀裂に強く防水性抜群

水性外かべ凹凸塗料

ツヤあり 凹凸仕上げ

汚れがつきにくい高級弾性塗料

7L

水で洗って下さい

無鉛塗料

注意書きをよく読んでから使用して下さい。



モルタル壁・ブロックベイ・リシン壁や木部に

標準塗り面積 (1回塗り) 6~8㎡

乾燥時間 夏期/2~3時間 冬期/6~8時間

塗り重ね時間の目安 夏期/4時間以上 冬期/12時間以上

防カビ剤 防藻剤配合

ASAHI PEN

ひび割れ、亀裂に強く防水性抜群

水性外かべ凹凸塗料

ツヤあり 凹凸仕上げ

汚れがつきにくい高級弾性塗料



モルタル壁・ブロックベイ・リシン壁や木部に

標準塗り面積 (1回塗り) 6~8㎡

乾燥時間 夏期/2~3時間 冬期/6~8時間

塗り重ね時間の目安 夏期/4時間以上 冬期/12時間以上

専用ローラー(凹凸用塗料専用ローラー)に塗ると凹凸状に仕上がります。

水で洗って下さい

無鉛塗料

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

ひび割れ、亀裂に強く防水性抜群

1回塗り 水性 外かべ凹凸塗料

ツヤあり 水性アクリル弾性塗料

商品名 水性外かべ凹凸塗料

品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、防カビ剤、防藻剤、水

特長

- 専用のローラーに容易に、ツヤありの風格ある、美しい立体凹凸模様仕上げができます。
- 防カビ剤・防藻剤の配合により、長期間カビ・藻(モ)・コケの発生を防ぎます。
- 塗膜は弾力性に優れており、コンクリートやモルタルに生じるひび割れやさびに強い塗料です。
- 汚れが付きにくく、防水性や耐候性にも優れ、長期間建物の美観を保ちます。

用途

- 屋内外のコンクリート・モルタル・ブロック・スレート・レンガ・しっくい・木部などの壁・天井・床など。

塗装用具

凹凸用塗料専用ローラー(マスタックローラー)をご使用下さい。アサヒペンペイントスプレーヤーでは塗装できません。

うすめ方 原則として、うすめないで塗って下さい。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水で洗って下さい。

保管上の注意

①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。

②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になると、自動車内などの高温になると、容器がさびや錆いところには置かないで下さい。

③残った塗料はしっかりとキャップをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

取扱い上の注意

①表示の用途以外に使用しないで下さい。

②体調が悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。

③目に入ったり皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。

④皮膚に付着したまま放置すると、炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。

⑤塗装中、乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。

⑥塗料がついても支障がない服装で作業をして下さい。

⑦塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。

⑧塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。

⑨あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・密着性などを確かめてから塗って下さい。

⑩特殊なコーキング材・シーリング材の中には密着しないものがあります。

⑪コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなる場合があります。

⑫塗り重ねるときは、夏期4時間以上、冬期12時間以上乾かしてから塗って下さい。

⑬塗ったときの凹凸模様は、塗布量とローラーの押さえ具合で多少異なります。

⑭塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。

⑮容器は塗料を使い切った後から捨てて下さい。

⑯やむを得ず塗料を捨てるときは、水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。

⑰容器を落とさせると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意

①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。

②旧塗膜を剥がして粉が手につく場合は、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。

③カビがはえている所はカビリ剤でカビをとってから塗って下さい。

④藻(モ)、コケがはえている所は、水をかけながらタワシ等で取り除いてから塗って下さい。

⑤くさの類など鉄部に直接塗る場合は、充分にサビを落とし、サビ止め塗料を下塗りして下さい。

⑥新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヵ月以上経ってから行い、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。